

小噺・落語入門サロン

■ 前座 (今日の話題・話のネタ)



あいうえお50音 (日本語の奇跡)

落語歳時記シリーズ

6月の落語 「転宅」

日本橋浜町の「黒板塀に見越しの松」の妾宅。50円渡して帰る旦那を、お妾のお菊さんが見送りに出てきた。これを見聞きしていた泥棒がその隙に座敷に入り込み、残りの料理と酒を飲み食いし始める。

そこへ戻ったお菊さんに泥棒は「この段平物が目に入(へえ)れねえか」と紋切り口上で、さっきの50円を出せとおどす。気丈で機転がきくお菊さん、あわてず騒がず泥棒をおだて上げ、もとは自分も泥棒で、もう旦那には愛想が尽き、こんな暮らしは飽きたから夫婦になろうと持ち出す。すっかり舞い上がった泥棒、その気になって「今夜は泊ろう」ときた。困ったお菊さん、「用心のため二階は剣術と空手の先生に貸してある」と切り抜け、「今夜は帰って明日また来て頂戴、三味線の合図で家に入って」と泥棒を説得する。おまけに泥棒の紙入れから、「亭主の物は女房の物」、「女房の物は女房の物」なんて丸め込んで金を巻き上げる。泥棒はつゆとも疑わず、じゃあ明日と出て行く。



翌日、待ちかねた泥棒さん、意気揚々と妾宅にやって来るが、雨戸が閉まっていて三味線の音も聞こえない。そこらを一回りして、向いの煙草屋で尋ねると、昨夜、お菊さんの所へ間抜けな泥棒が入ったという。お菊さんは、色仕掛けでせまって泥棒と夫婦約束までさせた。すっかりのぼせ上がった間抜けな泥棒を退散させたが、さすがお菊さんも怖くなってお店(おたな)へ知らせ、今朝早く店の若い者が来て荷物をまとめてご転宅、引っ越して行った。びっくり仰天、茫然自失の泥棒さん。

泥棒 「一体、あの女は何者です」煙草屋 「もとは義太夫の師匠だったそうです」

泥棒 「道理でうまく語り(騙り)やがった」

■ 二つ目 (小咄の稽古)

映像や音声から学ぶ、小ばなしのコツ・つぼ
「プロに学ぶ小噺の話し方」落語の時間“妾馬(めかうま)”

<https://www.youtube.com/watch?v=Ltrre3KrArA&t=428s>

そのあと、皆さんの小ばなし披露とアドバイス

■ 大喜利

今回も **謎かけ** で、お題は「紫陽花」「なめくじ」とかけて

次回は2025年 **7月2日(月)**「うなぎ」「とまと」とかけて